

Q&A と 補足

※本ウェビナーの内容は、CDP日本事務局が、日本企業の皆様向けに日本語での説明を行うために作成したものです。
最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、正しくは英語版をご参照ください。

2022年 気候変動関連のFS固有質問と回答対象(1/2)



設問番号		設問内容	回答対象	
C0 はじめに	C-FS0.7	金融活動の内容		
C1 ガバナンス	C-FS1.4	退職金制度		
C2 リスクと機会	C-2.2	C-FS2.2b	※C-2.1による	
		C-FS2.2c	※C-FS2.2bによる	
		C-FS2.2d		※生保・健保は対象外
		C-FS2.2f	※C-FS2.2dによる	※生保・健保は対象外
C3 事業戦略	C-FS3.6	除外方針		
		C-FS3.6a	※C-FS3.6による	
		C-FS3.6b	※C-FS3.6による	
		C-FS3.6c	※C-FS3.6による	
	C-FS3.7	社外資産運用会社の選抜		※投資(AO, AM)のみ
			※C-FS3.7による	※投資(AO, AM)のみ
	C-FS3.8	コベナンツ		※銀行のみ
			※C-FS3.7による	※銀行のみ
C4 目標と実績	C-4.1	C-FS4.1d	※C-4.1による	
	C-FS4.5	製品・サービス		
			※C-4.5による	

2022年 気候変動関連のFS固有質問と回答対象(2/2)



設問番号			設問内容	回答対象	
C12 エンゲージメント	C-FS12.1	C-FS12.1b	顧客とのエンゲージメント	※C-12.1による	※確認中
		C-FS12.1c	被投資会社とのエンゲージメント	※C-12.1による	
	C-FS12.2		議決権行使		※投資(AO, AM)のみ
		C-FS12.2a		※C-12.2による	※投資(AO, AM)のみ
	C-FS12.5	イニシアチブへのコミットメント			
C14 ポートフォリオの影響	C-FS14.0		炭素関連資産		
	C-FS14.1		ポートフォリオの影響		
		C-FS14.1a		※C-14.1による	
		C-FS14.1b		※C-14.1による	
	C-FS14.2		ポートフォリオの影響の内訳	※C-14.1による	
		C-FS14.2a		※C-14.2による	
		C-FS14.2b		※C-14.2による	
		C-FS14.2c		※C-14.2による	
		C-FS14.2d		※C-14.2による	
	C-FS14.3		1.5℃との整合		
C-FS14.3a		※C-14.3による			

ご質問への回答



CO はじめに

活動の種類を選択肢が「Bank lending」から「Banking」に改訂された点について、具体的にどういった金融サービスを含んでいるのでしょうか？

ここでは、銀行融資(bank lending) の他の銀行業務として、有価証券投資を含め銀行のバランスシートを使って収入を得る業務全体を指しており、トレードファイナンス、インベストメントバンキングなども想定されています。なお、ガイダンスでは、「Banking (Bank): Financial institutions that mostly undertake lending, deposit taking and other financial intermediary activities. Relevant questions focus on banks' lending and other activities, which for banks are the entire collection of products, securities and loans held on the balance sheet for which they own the receivable stream.」と説明されています。

アセットオーナー部分についての収益の20%について、どのように判断すればよいでしょうか？ また、収益の定義も教えて頂けませんか？

売上(revenue)は「Income arising in the course of an entity's ordinary activities (less returns, allowances and discounts) - before deducting costs for the goods/services sold and operating expenses to arrive at profit (based on the International Financial Reporting Standard)」と定義されています。アセットオーナーとしてInvesting(投資)の活動をされている場合に該当します。

ご質問への回答



C0 はじめに

生命保険、損害保険は投資(AO)と保険引受のどちらの活動で回答を進めるべきでしょうか？この選択で答えるべき質問内容が変わるのでしょうか？

該当する活動については、回答することが期待されます。（少なくとも、報告年の貴社の収益の20%以上に関連する各活動に対して、[はい]を選択します。）ガイダンス資料では以下のように記述がございますので、保険会社で資産運用もされている場合は、Investing (Asset Management)とInsurance underwriting (Insurance company)の両方で“Yes”とご回答ください。

- If you are an insurance company that invests assets on your own behalf, select “Yes” in column 2 for rows “Insurance underwriting” and “Investing (Asset owner)”, as both insurance underwriting and investment activities are applicable to your business.
- If you are a bank that does both lending and asset management, select “Yes” in column 2 for rows “Banking (Bank)” and “Investing (Asset manager)”, as both are applicable to your business.
- If you are a financial conglomerate that undertakes multiple activities listed, please select “Yes” in column 2 for all activities that apply.

活動固有の質問（例えば、企業のみ）もございますので、どの活動があるかによって、質問も多少の変動がございます。どの質問が、どの活動向けなのかの情報は、ガイダンスの「Question dependencies」をみてご確認いただけますのでご覧いただけますと幸いです。

ご質問への回答



CO はじめに

保険引受について、個人向け生命保険商品に関してどのように保険契約者個人の気候変動の取り組みを評価できるのでしょうか。

生命保険・健康保険の活動のみを選択した場合には、C-FS2.2dおよび C-FS2.2fの、顧客のデューデリジェンスやリスク評価プロセスに関する質問は表示されません。また、保険引受に関するポートフォリオの影響の測定方法については、現在決まったものではありませんが、CROフォーラムは、保険会社の引受ポートフォリオのカーボンフットプリントに関する様々な手法を提案しており、CDP質問書で説明することは可能です。金融サービスセクター企業向けのテクニカルノートでは、以下のように記載があります。

For insurance underwriting, carbon footprinting metrics are in their infancy, with little attention so far being paid to how to attribute company emissions to the insurers which are providing cover to those companies and therefore enabling their business activities and emitting behavior. A barrier to progress is the issue of double counting. It is plausible that insurers count Scope 3 emissions on their underwriting portfolio but also count the same emissions on the other side of their balance sheet if the premiums received are invested in the same companies being covered. Developments are being made by the CRO forum, but until metrics are more established, CDP cannot ask for specific datapoints.

Despite carbon footprinting being difficult for insurance underwriting portfolios, it is possible for underwriters to use much simpler exposure metrics with an agreed definition of carbon-related assets. Disclosing something as simplistic as what percentage of the companies they insure are carbon-related provides some degree of information.

There are different KPIs which can be used for calculating the percentage of portfolio. Insurers could use gross written premiums, sums insured or other metrics, depending on data availability at company-level. There are advantages and disadvantages to each. For example, gross written premiums and sums insured have a reasonably homogenous application across the insurance industry so would lead to more comparable data, however data granularity issues may exist for gross written premiums and sums insured does not have a linear correlation to the actual risk.

ご質問への回答



C1 ガバナンス

「(C1.1d) 貴社には、気候関連問題に精通した取締役を1人以上置いていますか?」の1列目で「はい」を選択した場合の「取締役の気候関連の見識を評価するために使用される具体的な基準を詳細に説明します。」とありますが、「具体的な基準」の例示をお願いします。

本年については、CDPの方で推奨している基準/指標などはございません。企業側で評価/判断するのに使用している基準をご説明いただければと思います。企業側で評価をするための基準を設定しておらず、評価していない場合には、「評価していない」をご選択いただくことになります。

退職金制度について、「強制的な国の制度」というのはどのようなイメージでしょうか。

「いいえ、強制的な国の制度があるため」というのは、国の規制によって、退職制度に気候変動を含むESG基準を組み込むことができない（法的に認められていない）場合に、該当する選択肢となります。

ご質問への回答



C4 目標と実績

「(C-FS4.5a) 顧客が気候変動への軽減や適応ができるようになる貴社の既存の製品およびサービスを製品を、分類するために使用されたタクソノミーについても含めて具体的にお答えください。」について、日本では当該法制がないと思いますが、環境省グリーンボンドガイドライン付属表や経産省業種別ロードマップのようなポジティブリストのようなものでも差し支えないでしょうか。

選択いただく分類法(タクソノミー)としては、“Green Bond Principles (ICMA)”や“LMA Sustainability Link Loans Principles”といった原則や、「Externally classified using other taxonomy or methodology, please specify」「Internally classified」も選択肢にございますので、分類に利用された方法をご選択ください。

C6 排出量データ

排出量報告については、非化石証書購入分による控除をして回答して良いのでしょうか。

はい。非化石証書やその他の再エネ証書（グリーン電力証書、再エネのJクレジット）の購入分について、考慮いただくことができます。

ご質問への回答



C14 ポートフォリオの影響

ポートフォリオのお話がありましたが、投融資の期間はどうか考えればよいのでしょうか。短期のトレーディングも対象に含めるのでしょうか。

ポートフォリオ関連の設問では、バランスシート上にある貸出金や有価証券は、保有目的（満期保有債券、売買目的など）にかかわらず対象となりますので、トレーディング目的の有価証券も含まれます。

なお、ポートフォリオ排出量は、ある固定した1時点で測定するか、ポートフォリオが動的であることを考慮し、フロー変数で補正することも可能です。（例：ある資産運用会社がA社の株式を年間100%保有していたが、12月30日に売却した場合、その投資家が1年間にA社を保有した日数の割合(今回は364/365)をフロー変数として使ってカーボンアカウンティングの評価を修正することができます。）詳しくは金融サービスセクター企業向けの[テクニカルノート](#)をご参照ください。

C-FS14.0の質問におけるポートフォリオの活動は石炭天然ガスに対してですが、炭素関連資産の評価はTCFDが定義した4つのセクターを全て含む必要がありますか？

はい。all carbon-related assetsでは、TCFDの定義する“Energy”, “Transportation”, “Materials and buildings”, “Agriculture, Food, and Forest Products”の4つが対象セクターとして想定されています。

ご質問への回答



FW-FS 森林および水セキュリティ

C-FS0.7について、森林のみでハイリスクとされるセクターのみを選択した場合、水に関する回答は不要でしょうか。また、どのセクターが森林・水のどちらでハイリスクと判断するかは何をもって確認すればよいでしょうか。

森林 and/or 水セキュリティに高いインパクトがあると判断されているセクターがC-FS0.7の選択肢として用意されております。「None of the above」という回答以外の場合には、森林 や水セキュリティに関する質問が表示されることとなります。どのセクターが森林 and/or 水セキュリティに高いインパクトがあると判断されるかは、以下をご参照ください。(F: 森林, W: 水セキュリティ)

- Exposed to all broad market sectors (F, W)
- Agricultural chemicals (W)
- Agricultural products wholesale (F)
- Animal processing (F)
- Animal products wholesale (F)
- Apparel design & manufacturing (W)
- Aquaculture (W)
- Basic plastics (W)
- Biofuel supply (F)
- Biofuels (F)
- Cattle farming (F, W)
- Coal extraction & processing (W)
- Cocoa bean farming (W)
- Cotton farming (W)
- Dairy & egg products (F)
- Electronic components manufacturing (W)
- Fabric metal components manufacturing (W)
- Fast food (F)
- Finished wood products (F)
- Fruit farming (W)
- Grain & corn farming (F, W)
- Grain & corn milling (F)
- Hypermarkets & superstores (F)
- Inorganic base chemicals (W)
- Logging (F)
- Metal smelting, refining & forming (W)
- Metallic mineral mining (W)
- Natural gas extraction (W)
- Nitrogenous fertilizers (W)
- Non-nitrogenous fertilizers (W)
- Oil & gas extraction initial (W)
- Oil & gas refining (W)
- Oilseed processing (F)
- Other animal farming & processing (F)
- Other base chemicals (W)
- Other crop farming (W)
- Other oilseed farming (F, W)
- Palm oil farming (F, W)
- Palm oil processing (F)
- Paper products (F)
- Personal care & household products (F, W)
- Pharmaceuticals (W)
- Poultry & hog farming (F, W)
- Print publishing (F)
- Rice farming (W)
- Rubber farming (W)
- Semiconductors manufacturing (W)
- Soybean farming (F, W)
- Soybean processing (F, W)
- Specialty chemicals (W)
- Sugarcane farming (W)
- Supermarkets, food & drugstores (F)
- Textiles (W)
- Vegetable farming (W)
- Wood & paper materials (F)
- Wood & paper products wholesale (F)
- None of the above

ご質問への回答



FW-FS 森林および水セキュリティ

森林・水セキュリティに関する質問について、金融機関の実利用は回答対象外であっていますか？たとえば、コピー用紙の購入＝森林破壊に結びつくと思いましたが、こういった観点は考慮不要でしょうか？

今回、金融サービスセクター向けに導入されたFW-FSモジュールでは、森林や水セキュリティに対する金融機関のポートフォリオの影響に注目をしております。自社の直接的な影響よりも金融サービスを通じた間接的な影響の方が大きいと考えられることから、直接的な影響の緩和策(節水・省資源化など)も重要と考えますが、今年の質問書では影響の大きさから、ポートフォリオを通じた影響を優先して質問しています。

なぜ、金融機関のみ、森林・水セキュリティに関する質問が追加でされたのでしょうか。また、森林のみスコアリングされ、水セキュリティはスコアリングされないのでしょうか？

上述の通り、CDPでは森林や水セキュリティに対する金融機関のポートフォリオの影響が非常に大きいことから、金融機関にポートフォリオを通じた森林・水セキュリティに関する情報開示を求めます。2020年より森林分野、2021年より水セキュリティ分野について、金融サービスセクター向けの質問書のパイロットを実施しており、そういったプロセスを経て、今年、正式な導入に至っております。

森林についてのスコアリングは、パイロットを経て明確な評価指標が準備されたため、今年よりスコアリングが実施されます。水セキュリティについては、現在、評価指標を開発中のため、今年の質問書ではスコアリングは実施されません。しかし、今後の評価指標の開発・改善、また質問書への回答を通じた課題認識・組加速に有意義であるとして、水セキュリティについても回答をお願いしています。

ご質問への回答



スコアリング

2022CCスコアリング基準の資料では、FS-FWの水セキュリティが採点されるようにも見えますが、採点されないという理解で間違いないでしょうか？また森林は非公開スコアであるものの採点されるとのことですが、CC回答全体の最終スコアに影響するのでしょうか？

森林・水セキュリティについては、同じ質問の中で回答を求めているため、どちらのテーマもスコアリングされるように見えてしまっています。申し訳ありません。質問内で回答欄が分かれているため、採点の対象となるのは、森林に関する部分のみとなります。なお、森林についての非公開スコアは気候変動のスコアに影響を与えません。これらは二つは分かれたスコアとなります。

168の設問があり、回答するルートにより表示される質問や設問数が変わると理解していますが、スコアリングの重みづけも当然変わる、つまり、設問数が減れば、1問当たりのスコアが大きくなるという理解であっていますか。

ご理解の通りです。各レベル(情報開示, 認識, マネジメント, リーダーシップ)ごとに、 $(\text{獲得した点数})/(\text{回答が求められる質問の配点の総和})$ の割合で評価されるものとして、イメージいただければと思います。

社内では検討済みで、数値などは算出しているが、ホームページには公表していないデータについても評価されるのでしょうか？

ホームページ等に記載がないデータでも問題はございません。CDPでは、ホームページ上の情報に関係なく、CDPの質問書内で回答された内容を基に評価を実施しています。

ご質問への回答



そのほか (CDPジャパンのホームページ、開示サポートのページで各種ご案内資料が確認いただけます。)

回答事務費用の支払い期限は、いつでしょうか？

お支払い期限は、請求書発行日から90日後、または 2022年9月30日のいずれか早い日となります。

質問と回答は全て英文と認識というのですが、あっていますでしょうか？

質問は和訳版も用意されております。ただし、質問の内容は、開示サイクルの中でも変更が発生し、和訳版はこれらの変更をタイムリーに反映することが難しいため、正式な情報としては英語版をご参照ください。(和訳版につきましては、参考情報としてご利用いただけますと幸いです。)

回答については、日本語でも英語でも可能です。ただし、1つの言語に統一いただく必要がございます。両言語での併記はできませんのでご注意ください。スコアリングの観点では、どの言語で回答いただいても問題はございませんが、御社が情報提供を想定しているステークホルダーを考慮して、回答言語をご判断いただければと存じます。

質問書の容量が重く、すぐ落ちるなど大変扱いづらいのですが、様式の変更などの改善は今後ご検討いただけますでしょうか？何か、回答作成にあたって、よい方法があれば教えていただきたいです。

お手数おかけして申し訳ございません。ご利用のブラウザによって不具合が生じる可能性があります。CDPではChrome, Safari, Edge, Firefoxでの利用を推奨しております。

また、Excelファイルを使った回答のインポート機能もございます。詳しくは開示サポートのオンライン回答システムのユーザーガイド(※現在は2021年版)をご参照ください。

ご質問への回答



回答確認中

C10.1c について、マネジメントレベルの基準「v) Document in column ‘Attach the statement’ relates to at least one portfolio group as specified in column ‘Portfolio’ in question C-FS14.1a」は、カテゴリー15について、銀行取引/資産運用会社/保険会社のポートフォリオのいずれであるかの区別を明確にしたうえで検証報告書に明記してもらう必要があるということでしょうか？

C-FS12.1bについて、①依頼主の種類において、回答企業がアセットオーナーの場合は選択する選択肢がありませんが、この「（アセットオーナー）」は資産運用会社またはアセットオーナーという意味でしょうか？それとも、「資産運用会社の依頼主（アセットオーナー）」は、資産運用会社の顧客（＝アセットオーナー）という意味で、アセットオーナーは本質問には回答できないということでしょうか。②リーダーシップレベルでは「科学的根拠に基づいた排出量削減目標を設定するように依頼人に働き掛けます」または「2050年までに排出量ネットゼロを達成する意欲と一致する脱炭素化目標に関するアセットオーナーの依頼主とのパートナーシップでの取り組み」を選択していないと満点が獲得できませんが、2022年回答では個人の顧客をエンゲージメント対象にした回答では満点が獲得できないということでしょうか。

上記のご質問については、現在、開発チームに回答を確認中ですので、少々お待ちください。

◆ウェビナー・最新情報・お知らせはこちらを定期的にご覧ください。（随時最新情報が更新されます）
<https://www.cdp.net/ja/japan/disclosure#294bb844ddeb59567c057ca538e2c3da>

◇公募投信に対するクライメトリクス格付け
<https://www.cdp.net/en/investor/climetrics/>

CDP事務局
japan@cdp.net

キャピタルマーケットズ関連のお問い合わせ
capitalmarkets.japan@cdp.net

03-6225-2232
東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル3F xLINK 大手町オフィス
<https://www.cdp.net/ja/japan>